

榊原病院 Monthly

Vol.51
2021.October

独立行政法人国立病院機構 榊原病院
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

院長

村田 昌彦 (むらた まさひこ)

1962年生まれ

1991年富山医科薬科大学医学部卒

1996年同医学部大学院卒

2014年国立病院機構北陸病院精神科部長

2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。



病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

「榊原病院」に赴任して 緒方 栄司

令和3年4月より名古屋の病院から榊原病院企画課（会計部門）に赴任しました緒方と申します。赴任してからあっという間に半年が過ぎ、虫の声に深まる秋を感じる季節となりました。虫と言えば、ここ榊原病院は、自然に囲まれた環境の中にあります。先日は、猿の親子が病院に遊びに来ていましたし、鹿を見たこともあります。私は、自然環境に恵まれた三重県が大好きです。

もう30年程前になりますが、初めての赴任地は、白山町にあった病院でした。今回で三重の地での勤務は、2度目となりますが、地元の方には、釣りやゴルフ、カラオケ等、色々なところに連れて行っていただきました。当時、右も左も分からないヨソ者に、親切に接していただいた地域の方々に感謝しております。

さて、赴任してからの半年間は、主に病棟改修工事に関わる業務を行ってきました。工事の打ち合わせを毎週行い、患者様が安全に、また、どうすれば快適に過ごしていただけるかを病院職員と工事業者で知恵を出し合いました。その改修工事も病棟部分については、令和3年9月に完了し、昔の古い病棟から新しい病棟（南1病棟）に生まれ変わることが出来ました。9月30日には、南1病棟への引越しも無事に終えることができ、患者様も綺麗な病棟に喜んでおられました。今後の予定としては、デイケア、訪問看護ステーション等の引越しが控えています。

デイケア、訪問看護と言え、新型コロナウイルス第5波への対応として全面中止としておりましたが、政府による緊急事態宣言解除を受け、10月1日より再開しております。デイケアは人数を限定、訪問看護は30分以内の短時間という制限付きとなりますが、今回の病棟改修と同様、患者様に喜んでいただけるような運用をしていきたいと考えておりますので、是非ご利用ください。最後となりますが、皆様のご来院をお待ちしております。ご不便をお掛けする面もまだまだ多くありますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

トピックス

行事・出来ごと

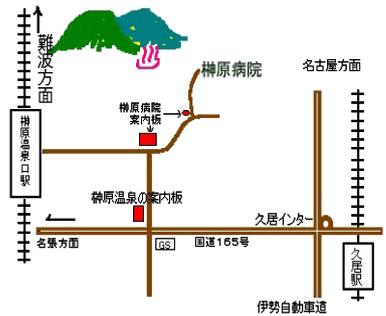
- 病棟の建て替え工事が完了いたしました。南1病棟は9月30日、北2病棟（旧南2病棟）は10月4日より新病棟にて運用しております。
- 新型コロナウイルス対応として、入院患者様の外出、外泊、面会を制限させていただいております。情報は随時更新しておりますので、院内掲示やホームページで御確認願います。

診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
- 専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数 176床

- ・ 精神科病棟 157床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 強度行動障害ユニット



電車・バス／近鉄久居駅下車 三交バス（車庫前行き）約30分
自動車／久居インターより約20分
マイクロバス／久居駅より直通バス（約25分）



〒514-1292 三重県津市榊原町777番地

<https://sakakibara.hosp.go.jp/>

代表電話 TEL 059-252-0211 FAX 059-252-0411

地域医療連携室 TEL 059-252-0660 FAX 059-252-0280

訪問看護ステーションゆうはあと TEL 059-252-0122 FAX 059-252-0126

地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和3年9月までに全症例は122例となりました。新規導入は7月2例、8月1例、9月1例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



認知症医療、アルコール・薬物依存医療、こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか。「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」（健康日本21）と言われています。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談ください。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。

〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

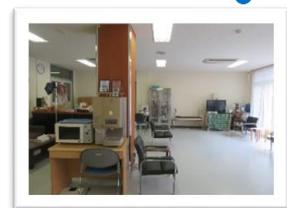


デイ・ケア案内

デイケアは月、火、水、金の午前9:30から午後3:30まで、榊原病院1階で活動しています。人気が高いプログラムは、散歩です。秋の穏やかな気候のもと、榊原地域を散歩するのは気持ちよいものです。他にも、コグニサイズで心と体の健康を増進したり、SSTやWRAPでよりよく生きる道を探したり、様々なプログラムを用意して皆様のお越しをお待ちしています。



デイケア室カレンダーの飾りです。デイケア室の様子です。皆で作りました。



※ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。

栄養コラム



日本人の「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」をご存じですか？

「日本食品標準成分表」(以下成分表)は日常的な食品の食べられる部分100gあたりに含まれる栄養成分(炭水化物、たんぱく質、脂質など)やエネルギーなどの数値が掲載されているものです。昨年、改定版である2020年度版(八訂)が公開されました。そもそも、成分表は、どのような場面で使用されているのでしょうか。成分表は、国民健康栄養調査や食料自給率の算出、給食の栄養計画、栄養指導、食品の栄養成分表示などに活用されます。また個人として、自宅での食事管理で用いられる方もいます。

このように活用する場面は、多岐にわたります。また、より正確な値が算出できるように栄養成分の計測方法を適切なものに切りかえたり、掲載食品が変更されたりしています。次回からのコラムでは成分表のどの部分が、どのように変更されたのかを説明していきます。

病棟改築に関するミニシンポジウムを行いました

榊原病院病棟改修に伴い、村上名誉院長はじめ、設計にご尽力をいただいた先生方をお招きし、ミニシンポジウムを開催しました。コロナ渦のためWebでの開催となりましたが、設計意図の分かるスライドや、精神科における療養環境が患者様に及ぼす影響についてお話があり、充実した内容となりました。

